



監修者・著者プロフィール

坂井建雄 (さかい たつお)

順天堂大学医学部 解剖学・生体構造科学講座 教授

1953年大阪生まれ。1978年東京大学卒。1978年東京大学解剖学教室助手, 1984～'86年ハイデルベルク大学解剖学研究室に留学。1986年東京大学助教授。1990年順天堂大学教授。現在に至る。専門は解剖学, 医学史, 腎臓と血管の細胞生物学。主な著書・訳書:『からだの自然誌』(東京大学出版会), 『カラー図解 人体の正常構造と機能』(日本医事新報社), 『人体観の歴史』(岩波書店), 『標準解剖学』(医学書院) など多数。

町田志樹 (まちだ しき)

臨床福祉専門学校理学療法学科 専任教員

順天堂大学医学部 解剖学・生体構造科学講座 協力研究員

資格等:認定理学療法士(学校教育), 日本マイオチューニングアプローチ学会 理事

1977年新潟生まれ。新潟リハビリテーション専門学校(現.新潟リハビリテーション大学)卒業後, 2010年より順天堂大学 大学院医学研究科 解剖学・生体構造科学講座 研究生として坂井建雄教授に師事し, 解剖学を学ぶ。その後, 2015年に同大学 博士課程を修了(入学資格審査合格のため, 修士課程免除)し, 博士(医学)を取得。現在は臨床福祉専門学校理学療法学科にて教鞭をとりつつ, 解剖学の卒後教育をコンセプトとした講習会「いまさら聞けない解剖学」を全国で展開。北海道から沖縄まで20以上の都道府県で開催し, 年間2,000名以上の現職者に講義を行っている。